

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	非正規労働者に対する正社員転換及び均等・均衡待遇推進事業（仮称）		担当部局	職業安定局派遣・有期労働対策部		作成責任者		
事業開始・終了（予定）年度	平成24年度		担当課室	企画課		企画課長	尾形 強嗣	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること				
根拠法令（具体的な条項も記載）	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	雇用形態に関わらず、非正規労働者の正社員転換や正社員との均等・均衡待遇を推進することを目的として、正社員転換制度、正社員との共通処遇制度、教育訓練制度等を先進的に導入・運用している企業から、制度の概要や導入の経緯、効果等についてヒアリングを実施し好事例を収集するとともに、これらの事例についてHP等を活用し広く周知することにより、企業の正社員転換や均等・均衡待遇等の取組みを促進する。							
事業概要（5行程度以内。別添可）	以下の①から③を民間業者に委託する。 ①正規労働者の正社員転換や正社員との均等・均衡待遇を推進するための制度を導入している企業にヒアリング調査 ②ヒアリング調査の結果を基に、優良事例の導入ポイントや効果等を整理した好事例集を作成、広く普及・広報 ③好事例の紹介、企業自らが自社の非正規労働者対策に関する取組みをPRする場、企業が互いに情報交換を行える場、Q&A、などを盛り込んだHPを創設							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算				44	67	
		繰越し等						
		計				44	67	
	執行額							
執行率 (%)								
成果目標及び成果実績（アウトカム）	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値（24年度）
	・今後、正社員転換制度を導入したい又は制度の導入を検討したいと答える企業割合（HP上でのアンケート）30%以上		成果実績	%				30
			達成度	%				
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	・ホームページアクセス件数3.3万件以上		活動実績（当初見込み）	件数（万）				— (3.3)
単位当たりコスト	1,333 (円/件)		算出根拠	委託契約額/ホームページアクセス件数 =44百万円/33,000件 =1,333円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.05	1.6	・平成25年度において、事業主向けセミナー等の事業を追加するため、増額となっている。				
	職員旅費	0	1.9					
	委員等旅費	0.02	0.3					
	庁費	0	15					
	委託費	43	48					
計	44	67						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	企業の正社員転換や均等・均衡待遇等の取組みを促進するための事業であり、ニーズ、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国の重要な政策課題である非正規雇用問題の解決等に向けた施策の一つであり、国が実施すべき事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	選定委員会を経て、公正な選考を行ったところ。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	妥当であると思慮。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ヒアリング、好事例集作成、HP創設等に必要委託経費及び委託先選定委員会の開催に係る経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	民間機関を活用した実効性の高い事業と考える。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	－
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－
点検結果	本事業は、過去の事業仕分け等で対象となった類のものではなく、また、現時点において執行面での課題は生じていない。成果目標についても、前述のとおり設定している。		
予算監視・効率化チームの所見			
－	本事業は、平成23年度に非正規労働者の公正な待遇の確保に横断的に取り組むための総合的ビジョン(非正規雇用ビジョン)を策定することとしており、それを踏まえ、①正社員を希望する非正規労働者の正社員就職、正社員転換の支援、②非正規労働者の均等・均衡待遇の促進、③キャリア形成の推進、④セーフティネットの強化について、一体となって対策を講じていくとともに、雇用形態に関わらず横断的な観点から必要な非正規労働者対策を講じる経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－	－		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

※平成24年度予定

厚生労働省
(44百万円)



【企画競争】

A. 民間シンクタンク等
(44百万円)

〔委託事業によるヒアリング調査等、HP創設〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					